

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
1	1	2	1	25	すこやか・ともしびまつり	「健康でふれあいのあるまちづくり」の実現のため、福祉施設や団体の活動紹介や作品・成果発表、参加体験コーナー等の実施を通し、広く市民に福祉と健康づくりの理解を呼びかけるイベントを開催	福祉総務課	【実績】 実行委員会にて実施 9月17日(土)、18日(日)実施 来場者数 17,000人 参加団体数 169団体 「ふれ愛コンサート」と同時開催 【評価】 参加団体・施設の交流と成果発表の場を提供することができた。また、アオーレ長岡で開催することで、幅広い層の関心を集めることができ、より多くの人の福祉意識を啓発できた。
							健康課	
							社会福祉協議会	
1	1	2	2	25	ともしび運動ポスター展	小学3年生から中学生を対象に「ともしび運動」に関するポスターを募集 入賞作品はコミュニティセンターや学校等に巡回展示	福祉総務課	【実績】 H19年度から支所地域にも募集 応募点数 小学生662点、中学生14点 学校やコミュニティセンター等13か所で入賞作品の巡回展示 【評価】 合計676点の応募があり、児童の福祉に対する理解と関心を高めることができた。
							社会福祉協議会	
1	1	2	3	25	ともしび運動リーフレット・ポスター作成	「ともに生きる社会」の啓発広報としてリーフレット及びポスターを作成・配布	福祉総務課	【実績】 リーフレット 10,450枚 ポスター 530枚 作成・配布 【評価】 市関係機関、学校、企業等に配布し、ともしび運動の普及・啓発に活用された。
							社会福祉協議会	

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
1	1	2	4	25	精神保健福祉講座(こころのバリアをなくそうよ講座・講演会)	精神障害のある人に対する理解を深め、ともに生きる地域づくりを進めるための講座・講演会を開催	福祉課	<p>【実績】</p> こころのバリアをなくそうよ講演会 1回開催 200名 こころのバリアをなくそうよ講座 1回開催 130名 精神保健福祉講座 5回開催 100名 <p>【評価】</p> 精神障害のある人に対する理解の促進、ともに生きる地域づくりに資するものとして、今後も継続して実施していく必要がある。より多くの方から参加してもらえるように周知していきたい。
1	1	3	1	27	家庭教育活動事業	幼児から小学生の保護者を対象に開設する家庭教育講座の中で、福祉についてのテーマにも取り組む	保育課	<p>【実績】</p> 補助対象園 55園(61回) <p>【評価】</p> 子育ての大切なポイント等を講座を通して保護者に認識してもらうことで、意識の醸成につながっている。
1	1	3	2	27	福祉読本の作成配付	児童の福祉に対する理解を深め、「思いやり、助けあい」の心を育成するために、小学3年生を対象とした福祉読本を作成・配付	福祉総務課 社会福祉協議会	<p>【実績】</p> 教師用 450冊 児童用 2,900冊 作成・配布 昨年度末に全面改訂を行い配布した。9割以上の小学校が活用しており、児童が福祉に対する理解を深めるきっかけとなった。

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
1	1	3	3	27	長岡市社会福祉協力校指定事業	小・中・高等学校及び総合支援学校を対象に体験学習の機会を提供することにより、福祉に対する理解と関心を高めるとともに「思いやりの心」の醸成	社会福祉協議会	<p>【実績】 小学校…60校 中学校…28校 特別支援学校…4校 高等学校…12校 高等専門学校…1校 壁新聞を年6回、実践収録を年1回発行。</p> <p>【評価】 各校では福祉施設訪問や地域の美化活動、多世代交流など、様々な福祉活動が実践されている。児童青少年期から福祉に触れることで、「おもいやりの心」を醸成するとともに、将来的な人間形成にも繋がっている。</p>
1	1	3	4	27	福祉教育ライブラリー整備事業	特別支援教育や療育等福祉教育に関する書籍・ビデオ等を教育センターにライブラリーに整備し、有効活用	学校教育課	<p>【実績】(貸出状況) 視聴覚教材：17件 書籍：117件</p> <p>【評価】 特別支援教育や福祉教育に関する視聴覚教材(3本)及び書籍(5冊)を整備するとともに、それらの視聴覚教材や書籍についての広報を行い、教職員等に貸し出すなど有効活用を図った。</p>
2	1	1	1	31	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の各節目にすこやかな成長の確認と疾病の早期発見・早期治療を図るとともに、基本的な生活習慣の確立に向けて育児相談を実施し子育てを支援	子ども家庭課	<p>【実績】 受診率 ・4か月児健診98.6% ・5～6か月児乳児健康相談95.5% ・10か月児健診94.5% ・1歳6か月児健診97.8% ・3歳児健診97.2%</p> <p>【評価】 乳幼児健康診査受診率は高く、子どもの健康状態を確認できた。未受診に対しては訪問等で子どもの状態を確認するよう努めた。また個別に健康相談を実施し、適時関係機関等につないで不安の軽減を図った。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	1	1	2	31	健康診査事業及び後期高齢者健康診査事業	19～39歳及び後期高齢者を対象に、生活習慣病の早期発見を目指した健康審査を実施し、血管疾患・糖尿病等に起因する障害状態になることを予防	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診 (19～39歳及び生活保護被保護者) 受診者数1,856人 受診率9.0% ・後期高齢者健診 (後期高齢者医療制度加入者) 受診者数11,659人 受診率29.3% <p>【評価】</p> <p>19～39歳及び生活保護被保護者の受診率は、減少している。後期高齢者健診は対象者・受診者数とも増加しているが受診率が減少している。さらに啓発や受診環境整備をして受診者を増やす必要がある。</p>
2	1	1	3	31	特定健診・特定保健指導等事業	40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導に取り組み、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群の減少を目指し、疾病に起因する障害状態を予防	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診(40～74歳国保加入者) 受診者数16,988人 受診率33.9% ・特定保健指導(40～74歳国保加入者) 動機付け支援 利用者数(見込) 258人 利用率(見込) 20.7% 積極的支援 利用者数(見込) 58人 利用率(見込) 17.3% <p>【評価】</p> <p>特定健診では、受診率が昨年と比べ増加している。さらに啓発や受診環境整備をして受診者を増やす必要がある。特定保健指導の利用率は横ばいで、目標値に近づけるために、利用率向上対策を講じる必要がある。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	1	1	4	31	保健指導 健康教育 健康相談 訪問指導	市民を対象に保健指導を実施 ・健康教室を開催 ・個別に健康についての相談実施 ・健診受診者で医療機関に受診が必要な人への受診勧奨など	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康教育 開催回数 450回 延人数 12,100人 ●健康相談 <ul style="list-style-type: none"> ①H28重点健康相談 開催回数 30回 相談延人員 246人 ②H28総合健康相談 開催回数 169回 相談延人員 1,433人 ●訪問指導 訪問指導実人数 1,100人 延人数1,200人 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育では、生活習慣病予防のため自ら健康づくりができるように指導を行った。 ・健康相談では、健診結果や健康に関する悩みや心配ごとを解消することができた。 ・訪問指導では、おもに健診結果が要受診の人やがん検診結果が要精密検査の人について、受診勧奨や生活習慣の改善ができるよう支援を行った。
2	2	1	5	31	こころの健康講演会	うつ病等を予防するための講演会の開催	健康課 福祉課	<p>【実績(福祉課分再掲)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課 こころの講演会 開催回数20回 参加人数 700名 ・福祉課 こころのバリアをなくそうよ講演会 開催回数1回 参加人数 200名 <p>【評価】</p> <p>精神障害のある人に対する理解の促進、ともに生きる地域づくりを実現させるため、今後も継続して実施していきたい。また、参加者が更に増えるよう、広報等に力を入れ、より多くの方から講演会・講座に参加してもらえるように周知していきたい。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	1	1	6	31	こころの健康相談	うつ病等の健康相談を開催	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●来所・電話相談 延1,300件 ●こころの相談会 開催回数58回 相談延人数116人 <p>【評価】</p> <p>来所、電話相談の実施により、多くの市民のこころの不安や悩みの軽減の一助になった。</p>
2	1	2	1	33	精神障害者医療費助成	精神疾患の治療について、医療費自己負担の一部を助成	福祉課	<p>【実績】</p> <p>受給者数 2,689人 申請件数 30,267件 助成額 72,793千円</p> <p>【評価】</p> <p>受給者数が増え、申請件数も増加している。引き続き、制度の周知を図っていく。</p>
2	1	3	1	34	健康相談の実施	障害者支援訪問相談員や保健師等による窓口・電話・訪問相談	福祉課	<p>【実績】</p> <p>障害者支援訪問相談員4人</p> <p>【評価】</p> <p>関係機関との連携が必要な対応困難な相談ケースが増加しており、今後も市域全体の相談支援体制の強化に向けた体制整備を図っていく。</p>
					早期療育体制の整備			
2	2	1	1	38	こども発達相談室の充実	早期相談体制の充実、関係機関との連携	子ども家庭課	<p>【実績】</p> <p>相談延人数 2,600人</p> <p>【評価】</p> <p>一人ひとりの相談に寄り添い、より良い支援を行った。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	2	1	2	38	療育体制の整備	長岡市障害者自立支援協議会の積極的な活用	福祉課	<p>【実績】 全体会 2回開催 運営会議 3回開催</p> <p>【評価】 協議会の体制を見直したことにより、子ども部会での検討は一旦終結とし、全体会、運営会議で意見を聴取した。必要に応じて、随時、ワーキングで検討していく。</p>
2	2	1	3	38	特別な支援が必要な子どものサービスの充実	居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業の利用促進	福祉課	<p>【実績】 居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業を継続して実施。</p> <p>【評価】 居宅介護、短期入所、日中一時支援事業ともに利用実績は前年度を上回る見込みである。</p>
						児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、相談支援の利用促進	子ども家庭課	<p>【実績】 障害児通所支援及び障害児相談支援給付費等対象者延人数18,613人</p> <p>【評価】 各事業所に関するチラシを作成し、児童の発達支援を行う事業所の周知を行った。</p>
2	2	1	4	38	障害児保育の充実	保育園の入園を希望する特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制の整備	保育課	<p>【実績】 ・保育園への補助 特別児童扶養手当認定児童分 7人 5,648,160円 軽度障害児分 29人 14,375,880円</p> <p>【評価】 保育園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	2	1	5	38	私立幼稚園特別支援教育費補助事業	幼稚園における特別な支援が必要な子どもへの受け入れの推進	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園への補助 6園 2,352,000円 <p>【評価】</p> <p>幼稚園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
2	2	1	6	38	こどもすこやか応援事業	配慮を要する児童を早期に発見し、児童・保護者のニーズに応じた就学前から就学後まで一貫した相談・支援の実施	子ども家庭課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援児童数 156人 ・すこやかファイル作成件数 49件 <p>【評価】</p> <p>関係機関との連携を図り、就学支援がよりスムーズに行われた。</p>
2	2	2	1	41	特別支援学級教育環境整備事業	特別な教育ニーズに合わせた設備の整備及び教育の改良	教育施設課	<p>【実績】</p> <p>小学校2校実施 (特別支援教室設備改修)</p>
2	2	2	2	41	肢体不自由特別支援学級設置校の移動設備整備	肢体不自由児童・生徒の移動のための設備の整備	教育総務課	<p>【実績】</p> <p>階段昇降機の保有台数3校4台に対し、利用台数は小学校1校2台であった。</p> <p>【評価】</p> <p>保有台数が利用台数を満たしていたので、階段昇降機を必要とする児童に適切な支援を行うことができた。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	2	2	3	41	長岡市立総合支援学校・高等総合支援学校放課後サポート事業	平日の授業終了後及び長期休業日に、総合支援学校・高等総合支援学校の施設を利用して同校に在籍している児童・生徒の一時預かりを行う事業	福祉課	<p>【実績】 支援学校在籍の児童・生徒を対象に平日の放課後及び長期休業日の日中の一時預かりを実施。 実施日数 228日、延べ利用者数 2,500人</p> <p>【評価】 重度の障害児・者が増えていることもあり、マンツーマン対応等の必要性が高まっている。</p>
2	3	1	1	44	長岡市障害者多数雇用事業者からの物品等の調達制度	市が物品購入や役務の提供などを契約する場合、障害者多数雇用事業者として登録されている事業者から積極的に調達する	商業振興課	<p>【実績】 ・登録事業者数 7社</p> <p>【評価】 登録事業者からの調達することについて、市役所内の理解が深まった。</p>
2	3	1	2	44	障害者雇用促進職場体験実習等受入事業	一般企業等への就労を目指す就労移行支援施設利用者や障害者就業・生活支援センター登録者、高等総合支援学校の生徒を対象に事務作業や職業生活で求められるルールやマナーを体験実習する場を長岡市役所福祉課内に提供し、職業能力や社会性の向上を支援	福祉課	<p>【実績】 市役所実習を希望するもので以下のいずれかに該当するものを対象に実施 ・市内の就労支援施設利用者 ・市内に住所を有する障がい者就業・生活支援センター登録者(手帳を所持していない発達障害者を含む) ・長岡市立高等総合支援学校生徒 実施日数 270日、延べ利用者数 23人</p> <p>【評価】 実習生に自らの課題点等に取り組み、事業所に戻ってからも継続して行うことにより、就労に向け前進してもらっている。実習方法を随時見直しながら事業を継続する。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	3	1	3	44	企業実習支援事業	職場体験実習の次のステップとして、障害のある人が企業実習をする際に、ジョブサポーター(実習を受け入れた企業に出向き、直接指導を行う者)を派遣してそのスキルアップを図るとともに、障害者雇用促進法の改正等による障害者雇用義務の強化への対応を迫られる企業に対して間接的に支援	福祉課	【実績】 実習先企業等 30件 実利用者 28件 【評価】 実習先の開拓を進めることで利用者のニーズにマッチした実習機会を提供できるようにし、引き続き雇用促進職場体験等受入事業の利用者の次の目標となる事業として位置付けていく。
2	4	1	1	46	相談サービスの充実	障害者相談支援センター、障害者支援訪問相談員による相談の充実	福祉課	【実績】 障害者相談支援センター 6事業所(7箇所) (相談支援専門員 11人、サポート職員 7人) 障害者支援訪問相談員 4人 【評価】 病院等からの地域移行や触法ケースなど、困難ケースの相談件数は引き続き増加する見込みである。今後も、市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。
						長岡市障害者自立支援協議会の積極的な活用	福祉課	【実績】 全体会 2回開催 運営会議 3回開催 相談体制部会 5回開催 相談支援部会 5回開催 【評価】 協議会の体制を見直し、相談支援体制や地域課題等を部会で検討した。
2	4	1	2	46	福祉窓口の充実	手続・申請内容の拡充	福祉課	【実績】 H28年4月約360メニュー 【評価】 対応業務数・対応件数は年々増加傾向にある。各種業務の制度拡充等に合わせて窓口で受付体制を整えていく。

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	4	5	1	108	地域福祉・在宅福祉サービス事業(ボランティア銀行)	サービスを必要とする人を「利用会員」、サービスを提供する人を「協力会員」として活動する住民相互の助け合いの事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 利用者数：756人 年間総利用回数：2,748回</p> <p>【評価】 地域住民相互の支え合いにより、買い物支援などに積極的に取り組んだ結果、利用者1人あたりの利用回数が増加した。</p>
2	4	5	2	108	福祉送迎サービス事業	単独での移動が困難な高齢者や障害のある人等を対象に、医療機関へ自家用車による通院送迎を行う事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 利用者数：3,772人 年間総利用回数：3,701回</p> <p>【評価】 活動未実施、休止している地区を中心に活動周知と協力をお願いを行った結果、活動を休止していた地区の再開に繋がった。</p>
2	4	5	3	108	小地域ネットワークづくり事業	おおむね75歳以上のひとり暮らし高齢者等で援助が必要と思われる人に対し、地域内の住民による定期的な訪問、声かけ等で見守りを行う事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 対象世帯数：16,025世帯 利用世帯数：548世帯</p> <p>【評価】 書式や活動の見直しを各地区で行ったことで、形骸化されていたネットワークの再構築に繋がり、活動を再開した地区が出てきた。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	4	6	1	110	ボランティア大学 ・基礎講座 ・介護講座 ・傾聴講座 ・初心者講座	ボランティア活動への意識啓発及び基礎的知識、技能の習得並びに、市民の意識高揚の推進	社会福祉協議会	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア大学基礎講座 開催回数14回、参加者数33人 ○介護講座 開催回数4回、参加者数21人 ○初心者(フォローアップ)講座 開催回数22回、参加者数41人(内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・点訳:8回、参加者数5人 ・音声訳:8回、参加者数12人 ・手話:6回、参加者数24人 ○傾聴講座 開催回数6回、参加者数52人 <p>【評価】</p> <p>ボランティア活動への関心が高まり、各講座とも利用者が増加している。様々な角度から障害を学ぶことで、ボランティアに対する理解が深まるとともに、ボランティアの活動の幅が広がっている。</p>
2	4	6	2	110	運転ボランティアの参加啓発活動	福祉に貢献したい人たちに幅広い活動への意識醸成を図り、運転ボランティアにも目を向けてもらうための啓発を推進	福祉課 社会福祉協議会	社会福祉協議会においては、ボランティア大学を通じた活動や社協だよりへの記事の掲載などにより、啓発を実施している。(福祉課においては、運転ボランティアの協力により、重度身体障害者移動支援事業(ハート・カーの運行)を実施)

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	4	7	1	113	手話通訳者等の派遣	手話奉仕員の養成と手話・要約筆記通訳者等の派遣の実施	福祉課	<p>【実績】 手話奉仕員572人 要約筆記奉仕員30人</p> <p>【評価】 手話による意思疎通支援は今後も増加していく見込み。</p>
2	4	7	2	113	手話通訳者の福祉窓口への配置	市役所における手話通訳者の常時配置	福祉課	<p>【実績】 設置日数250日 来庁者数700人</p> <p>【評価】 H26年4月から手話通訳員の設置が2人から1人体制となっているが、2人体制となるよう引き続き努めていく。</p>
2	4	7	3	113	声の広報等発行事業	市政だより等の文書の概要を録音し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績】 ・障害者ハンドブック「ともに生きる」の音声コード化と音声訳データでの情報提供を実施予定 ・声の市政だよりの送付を行っている(H28送付対象者74世帯)。</p> <p>【評価】 引き続き、音声による情報提供を図っていく。</p>
2	4	7	4	113	点字広報等発行事業	市が発送する通知分等を点訳し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績】 市政だよりと同時に配布される文書について点訳を行い対象者に送付を行っている(H28送付対象者12世帯)。</p> <p>【評価】 引き続き、点字による情報提供を図っていく。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	5	1	1	115	ハンデイスports・レクリエーション講習会	障害者Sports・レクリエーション活動の振興の担い手となる人材の養成	福祉課	<p>【実績】 8月31日、9月7日に開催 参加者数 14人(延べ人数27人) 地域や施設などでの障害者Sportsの普及、人材育成を目的として実施している。</p> <p>【評価】 平成28年度より障害者Sports協会へ運營業務の委託を行った。短期間に集中的に実施したことにより参加者数は減少してしまったが、より専門的な内容で講習会を行うことが出来た。</p>
2	5	1	2	115	ふれ愛Sportsのつどい	「障害者週間」に合わせて、誰もが気軽に参加できるSports・レクリエーションイベント「ふれ愛Sportsのつどい」を開催	福祉課	<p>【実績】 10月16日に開催 参加者数 31人</p> <p>【評価】 平成28年度より障害者Sports協会へ運營業務の委託を行った。参加者(ボランティア等は除く)は前年度と比べて10名ほど減少したが、内容は今までより専門性が高く、効果は高いと考えられるため、今後も継続して行っていく。</p>
2	5	1	3	115	障害児者のための水泳教室・ハンディテニススクール	障害のある人の身体機能の向上を図るため、水泳・テニスの教室を開催	福祉課	<p>【実績】 水泳教室 6～7月の連続した週の土曜日に計5回開催。 参加者数 20人(延べ人数84人) ハンディテニス 10～11月の連続した週の水曜日に計5回開催。 参加者数 26人(延べ人数97人)</p> <p>【評価】 年々参加者は増加しており、参加者及びその保護者からも好評である。健康増進や社会参加の機会として、今後も引き続き実施していく。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	5	1	4	115	ながおかポニーカーニバル	ポニーとのふれあいによる青少年の健全育成及び障害のある人となない人の交流の促進並びに乗馬による障害のある人の機能向上の機会の提供	子ども家庭課	<p>【実績】 開催日 10月2日 来場者数 2,800人</p> <p>【評価】 高校生・専門学校生・大学生などのボランティアの協力により、障害のあるなしに関わらず、多くの市民がポニーとのふれあいや乗馬など体験することができた。また、支所地域巡回ポニーカーニバルも2か所(越路、三島地域)で実施した。</p>
2	5	1	5	115	グラウンドポニースクール	ポニーとのふれあいによる青少年の健全育成及び乗馬による障害のある人の機能向上の機会の提供	子ども家庭課	<p>【実績】 開催日 9月12日～9月17日、9月26日～9月30日、10月3日～10月5日 開催校 17校 開催施設 3ヶ所 参加人数 2,170人</p> <p>【評価】 ポニーとの活動が子ども達の情操教育に大きく貢献するということを、保護者や学校職員に実感してもらえた。今年度は教育センターで不登校やコミュニケーション等に課題を持つ児童生徒を対象に実施。柿が丘学園でも未就学児が引き馬やエサやりなどのふれあい体験で楽しむことができた。</p>
2	5	1	6	115	ながおかポニースクール(仮称)	青少年の交流体験・社会体験と障害のある人の機能向上の場「常設ポニースクール」の整備の検討	子ども家庭課	引き続き検討

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
2	5	1	7	115	障害者スポーツ競技力向上事業	障害者スポーツの活性化と競技水準の向上のため、全国に通じる選手の育成	スポーツ振興課	<p>【実績】 全国障害者スポーツ大会において、陸上競技(聴覚)800mで優勝するなどの優秀な成績を収めた。</p> <p>【評価】 ながおかスポーツ・レクリエーションフェスタや各コミュニティスポーツクラブのスポーツイベントにおいて、障害者スポーツ体験等を行い、新たな選手の発掘やスポーツに親しむ機会の提供を行うことができた。</p>
2	5	1	8	115	長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会(仮称)の設立	市民との協働による長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会設立の検討	スポーツ振興課	<p>【実績】 県障害者スポーツ協会と連携し、下記の研修会と講演会を開催した。 「障害者スポーツ支援者向け研修会」 7月3日(日) 参加者 41人 「障害者スポーツ講演会」 11月13日(日) 参加者 80人</p> <p>【評価】 一般市民の障害に関する理解を深めるとともに、指導者の育成及び障害者がスポーツを始めるきっかけづくりを行うことができた。</p>
2	5	2	1	116	ふれ愛コンサート	コンサートを通して、障害のある人となない人の「ふれあい」の場を提供し、障害のある人の音楽文化の向上と社会参加を実現	福祉課 社会福祉協議会	<p>【実績】 開催日9月18日(日) 入場者740人 「すこやか・ともしびまつり」と同時開催</p> <p>【評価】 今年は、「笑顔でつなご～レ音楽の輪」をテーマにコンサートを開催し、世代や地域を越えた交流の場とすることができた。また、今回は障害者施設に通っている方々にもご協力をいただき、出演する側、ステージを支える側の双方で障害者の方から活躍していただいた。来年度以降もスタッフの確保に努めるとともに、長く愛されるイベントへ作り上げていきたい。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載 ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
3	1	1	1	120	市有施設の新設整備	建築設計基準に基づいた障害のある人や高齢者に配慮した市有施設の整備	各課施設	施設の設計時に配慮して整備
3	1	1	2	120	既存市有施設の改善	優先度が高い箇所から順次バリアフリー化に取り組む	各課施設	施設の設計時に配慮して整備
3	1	1	3	120	町内公民館の施設改造費の補助	町内会が障害のある人や高齢者の利用を考慮して行う既存の公民館、集会所の機能・設備の改造に要する経費の一部補助	市民活動推進課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館のトイレの洋式化等の改造に要する経費の一部補助を行った。 H28年度交付件数 1件 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館等の利便性が向上した。
3	1	1	4	120	公園の新設整備 既存公園の改善	<p>障害のある人の利用に配慮した公園の新設整備</p> <p>障害のある人への配慮が不十分な既存公園を更新計画時に併せて改善</p>	公園緑地課	<p>【実績】</p> <p>稲保ふれあいうんどう公園に、身障者等が利用できるトイレを設置した。</p> <p>【評価】</p> <p>多くの市民が公園を利用することが可能になった。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
3	1	2	1	121	住宅改造費の補助	個々の障害に対応した住宅の改造費補助	福祉課	【実績】 福祉課 住宅改造費助成件数1件 介護保険課 住宅改造費助成件数49件 【評価】 障害者及び高齢者の自立を支援するとともに、快適で安全な生活環境の改善に役立った。
							介護保険課	
3	1	3	1	124	バス停上屋の整備	公共公益施設等の周辺や乗り継ぎ拠点などの利用者の多いバス停の上屋整備 バス停の快適性、安全性を向上させるための上屋等の整備促進	交通政策課	【実績】 上屋設置補助金交付件数 4件 【評価】 町内会から申請のあった4箇所に対して補助金を交付し、バス待ち環境の改善が図られた。
3	1	3	2	124	循環バスの運行	利用者の多い公共施設等と駅を結ぶ循環バスの運行	交通政策課	【実績】 中央循環バス・・・内回り25便、外回り26便運行 南循環バス(10月31日まで)・・・内回り8便、外回り8便運行(土・日・祝日はそれぞれ2便減) 宮内環状バス(11月1日より)・・・内回り6便、外回り6便運行(土・日・祝日はそれぞれ3便減) 宮内・川崎環状バス(11月1日より)・・・内回り2便、外回り2便運行(土・日・祝日は運休) 【評価】 立川総合病院の移転に伴い運行経路を病院経由に変更し、利用者の利便性を向上させた。

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
3	1	3	3	124	バス車両の改善	障害のある人、高齢者等が利用しやすいバス車両の導入促進	交通政策課	<p>【実績】 低床バス導入台数 10台(内、市補助6台、交通事業者購入4台) 年度末現在：長岡駅乗入台数178台中66台が低床バス(37.1%)</p> <p>【評価】 「長岡市交通バリアフリー基本構想」に基づき、長岡駅乗入台数の20～25%を低床化バスとするバリアフリー化整備目標が既に達成され、さらに増加している。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
3	1	3	4	124	歩行者優先道路の整備	障害のある人、高齢者等にやさしい道路として、車の進入を規制し、カラー舗装やベンチ、植栽等を整備した歩行者優先道路の整備	道路建設課	<p>【実績】 自転車歩行者専用道路整備 L=147.6m W=4.0m</p> <p>【評価】 計画的に整備している。</p>
3	1	3	5	124	バリアフリー化した歩道整備	障害のある人、高齢者等歩行者の安全確保を図るためのネットワーク化した歩道整備	道路建設課	H22年度で事業は終了しているが、歩道整備の必要性があれば対応する。
3	1	4	1	127	避難支援プランの推進	<p>避難行動要支援者避難支援プランに基づく個々の避難行動要支援者に対する具体的な支援体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の作成 ・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区福祉会等地域の関係機関等との情報の共有 	福祉総務課	<p>【実績】 H28年度避難行動要支援者名簿を作成し、地域の関係機関等と情報共有をした。</p>
3	1	4	2	127	緊急告知FMラジオの配備	緊急時には自動的に電源が入り、避難情報等を伝達できる緊急告知FMラジオを町内会、民生委員・児童委員、福祉施設、避難行動要支援者等へ配備	危機管理防災本部	<p>【実績】 ラジオ配付を希望する新規避難行動要支援者に対し配付を実施するほか、津波対策として寺泊地域の町内会へ追加配付を実施した。(累計12,264台配付) また、市が貸与したラジオについて故障・不具合に係る交換対応等を実施した。</p> <p>【評価】 町内会や避難行動要支援者への避難準備情報など災害情報等の緊急告知が可能となった。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
3	1	4	3	127	地域防災力の強化推進	「市民防災のしおり」、「洪水ハザードマップ」等の全世帯配布(視覚障害者には音声訳版・点字版配布)、「自主防災会結成と活動の手引き」の全町内会配布や、中越市民防災安全士の養成等による地域防災力強化の推進	危機管理防災本部	<p>【実績】 転入者に対して「洪水ハザードマップ」等防災の冊子を配布し、防災意識の高揚を図った。 自主防災会結成率91.84%、中越市民防災安全士541人</p> <p>【評価】 住民の防災意識が高まり、地域防災力の向上につながった。</p>
3	1	4	4	127	中越市民防災安全大学	地域の防災リーダーの養成と防災安全知識の修得を目的に平成18年度に開講	危機管理防災本部	<p>【実績】 8月下旬から9月上旬までの5日間に20講座を開催し47名が中越市民防災安全士として認定。</p> <p>【評価】 地域の防災リーダーが育成され、住民が主体となった地域防災力の向上につながった。</p>
3	1	4	5	127	高機能消防指令センターの充実	一般電話により高齢者、障害のある人等からの119番の通報場所が即時に判明でき、最も近い消防部隊を自動的に編成し、出動させるとともに、現場の地図及び避難行動要支援者の情報を把握	消防本部警防課	<p>【実績】 119番通報が無言でも、通報場所に消防車及び救急車を出動させている。</p> <p>【評価】 指令地図に通報場所のほか、避難行動要支援者情報を表示することで、対象者への災害対応がより迅速になった。</p>
3	1	4	6	127	木造住宅耐震診断費助成	木造住宅に対する耐震診断費の助成	都市開発課	<p>【実績】 H28年度実績は14件であった。出前講座、市政だより、総合防災訓練、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 件数は年々減少傾向にあるが、すまいの耐震化に対する関心を高めることができた。</p>

第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成28年度主要事業実施状況

章	節	項	番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H28年度実績等説明及び評価(見込み)
3	1	4	7	127	木造住宅耐震改修費助成	木造住宅の耐震改修工事費の助成	都市開発課	<p>【実績】 H28年度実績は4件であった。出前講座、市政だより、総合防災訓練、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 件数は年々減少傾向にあるが、すまいの耐震化を着実に進めることができた。</p>
3	1	4	8	127	木造住宅耐震改修設計及び工事監理費助成	木造住宅の耐震改修設計及び工事監理費の助成	都市開発課	<p>【実績】 H28年度実績は4件であった。出前講座、市政だより、総合防災訓練、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 件数は年々減少傾向にあるが、すまいの耐震化を着実に進めることができた。</p>
3	1	4	9	127	耐震住宅改修融資	耐震改修を必要とする住宅に融資の実施	住宅施設課	<p>【実績】 H28年度の利用件数は0件であった。 住宅融資制度については、市政だより、パンフレット、住宅建設・改修のお役立ち情報、日報住まいのリフォームフェアにおいてPRを行った。</p> <p>【評価】 耐震改修費補助金との併用で一層の効果が期待できるが、近年、金融機関の住宅ローンが充実しているため、本制度の利用がない。</p>

【障害福祉計画部分】 平成28年度障害福祉サービス等利用実績

(単位等について)

- 「時間分」「人日分(※)」…1か月あたりの延べ量
※月間の利用人員×1人1か月あたりの平均利用日数
- 「人分」…実人員
- 実績値については、各年度3月の月間利用実績または3月末時点での実績

1 障害福祉サービス

(計画書P56~77)

(1) 訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援)

サービス名	単位	計画値		
		27年度	28年度	29年度
居宅介護	時間分	4,158	4,368	4,578
	人分	202	216	230
重度訪問介護	時間分	150	150	150
	人分	3	3	3
同行援護	時間分	424	540	640
	人分	20	20	20
行動援護	時間分	22	32	43
	人分	2	3	4
重度障害者等包括支援	時間分	100	100	100
	人分	1	1	1

(計画書P57~59)

実績値			評価
27年度	28年度見込み	29年度	
3,876	3,909	—	各サービスとも計画値を下回る見込みであるが、居宅介護と行動援護は利用者が増加している。
198	206	—	
70	60	—	
1	1	—	
271	268	—	
11	11	—	
0	27	—	
0	3	—	
0	0	—	
0	0	—	

(2) 日中活動系サービス

(計画書P60~68)

サービス名	単位		計画値		
			27年度	28年度	29年度
生活介護	人日分		10,900	11,000	11,100
	人分		545	550	555
自立訓練（機能訓練）	人日分		120	120	120
	人分		7	7	7
自立訓練（生活訓練）	人日分		630	684	720
	人分		35	38	40
宿泊型自立訓練	人日分		522	580	638
	人分		18	20	22
就労移行支援	人日分		2,460	2,520	2,600
	人分		123	126	130
就労継続支援（A型）	人日分		420	420	420
	人分		20	20	20
就労継続支援（B型）	人日分		11,550	11,970	12,390
	人分		550	570	590
療養介護	人分		73	74	75
短期入所（ショートステイ）	人日分	福祉型	460	460	460
		医療型	150	150	150
		合計	610	610	610
	人分	福祉型	90	90	90
		医療型	20	20	20
		合計	110	110	110

実績値			評価
27年度	28年度見込み	29年度	
11,297	11,521	—	全般的に計画値を下回る見込みであるが、サービス利用者はほぼ横ばいで推移している。
559	575	—	
118	167	—	
6	9	—	
729	631	—	
35	32	—	
397	333	—	
14	14	—	
1,937	1,995	—	
90	95	—	
543	565	—	
26	29	—	
11,675	12,098	—	
584	611	—	
76	77	—	
442	414	—	
214	178	—	
656	592	—	
100	104	—	
26	25	—	
126	129	—	

(3) 居住系サービス

(計画書P69~70)

サービス名	単位		計画値		
			27年度	28年度	29年度
共同生活援助（グループホーム）	人分		290	300	305
施設入所支援	人分		320	316	312

実績値			評価
27年度	28年度見込み	29年度	
272	274	—	共同生活援助（グループホーム）計画値を下回る見込みで、今後もサービス提供基盤の整備が必要である。
318	323	—	

(4) 相談支援

(計画書P71~73)

サービス名	単位	計画値		
		27年度	28年度	29年度
計画相談支援	人分	1,792	1,832	1,872
地域移行支援	人分/月	4	5	7
地域定着支援	人分/月	3	4	5

実績値			評価
27年度	28年度見込み	29年度	
1,709	1,764	—	<p>【計画相談支援】 計画値に対して下回る見込みだが、実サービス利用者に対しては、ほぼ全てに計画相談支援が支給されている。 【地域移行支援・地域定着支援】 支給決定対象者が増加せず、計画値を下回る見込みである。</p>
1	1	—	
0	3	—	

(5) 障害児支援

(計画書P74~77)

サービス名	単位	計画値		
		27年度	28年度	29年度
児童発達支援	人日分	682	728	728
	人分	76	81	81
	箇所	3	3	3
放課後等デイサービス	人日分	569	602	669
	人分	85	90	100
保育所等訪問支援	人日分	10	15	15
	人分	5	10	10
障害児相談支援	人分	166	181	191

実績値			評価
27年度	28年度見込み	29年度	
485	506	—	<p>児童発達支援については、新規事業所の利用が伸びず計画値より下回ったもの。今後周知が進めば利用量も増加すると見込まれる。 放課後等デイサービスは、制度の周知に伴うニーズの高まりや新規事業所の開設により、計画値より大幅に増加しており、相談支援もそれに伴って増加している。</p>
56	65	—	
3	4	—	
940	1,174	—	
114	135	—	
3	5	—	
3	4	—	
173	204	—	

2 地域生活支援事業

(計画書P78~99)

(1) 必須事業

(計画書P79~81)

サービス名	単位	計画値		
		27年度	28年度	29年度
精神障害者関係講演会等	人	300	300	300
こころのバリアをなくそうよ講座	人	120	120	120
こころのバリアをなくそうよ講演会	人	180	180	180
自発的活動支援事業	人	7,455	7,485	7,505
身体障害者デイサービス	人	4,400	4,400	4,400
精神障害者デイサービス	人	800	830	850
精神障害者のつどい	人	25	25	25
知的障害者ふれあいの広場	人	2,230	2,230	2,230
障害者相談支援事業	箇所	6	7	7
相談件数	件	56,000	58,000	58,000
基幹相談支援センター等機能強化事業	有無	有	有	有
基幹相談支援センターの設置	有無	無	有	有
住宅入居等支援事業	有無	有	有	有
成年後見制度利用支援事業	件	7	9	11
成年後見制度法人後見支援事業	有無	有	有	有
手話通訳者設置事業	人	2	2	2
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	実利用件数	85	85	85
	派遣延人数	720	720	720
重度障害者等入院時コミュニケーション支援事業	有無	有	有	有
日常生活用具給付等事業				
介護訓練支援用具	件	20	20	20
自立生活支援用具	件	60	60	60
在宅療養等支援用具	件	60	60	60
情報・意思疎通支援用具	件	65	65	65
排泄管理支援用具	件(月分)	6,400	6,500	6,600
	実人数	550	560	570
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件	15	15	15

実績値			評価
27年度	28年度見込み	29年度	
152	430	—	周知に力を入れたためか、参加者が増加した。今後も参加しやすくする体制を図っていく。
91	230	—	
61	200	—	
7,054	7,111	—	いずれも計画値を下回っており、周知等に力を入れ、参加者数が増加するよう努めていく。
4,345	4,400	—	
669	680	—	
20	11	—	
2,020	2,020	—	
6	7	—	実施箇所が1箇所増えたが、相談件数は計画値を下回る見込みである。今後も、市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。
55,220	50,000	—	
無	有	—	相談支援体制の充実のため、今後も継続して実施していく。
無	有	—	
有	有	—	継続して実施
7	10	—	受給者の高齢化に伴い今後も件数が増加することが見込まれる。
有	有	—	
1	1	—	平成26年4月から手話通訳員の設置が2人から1人体制となっているが、2人体制となるように引き続き努めていく。
69	75	—	
580	602	—	
有	有	—	コミュニケーション支援のため、今後も継続して実施していく。
			いずれも計画値を下回っているが、日常生活において必要な用具費の給付事業として、今後もニーズを把握しながら実施していく。
14	12	—	
23	36	—	
47	68	—	
52	48	—	
5,863	5,918	—	
550	550	—	
6	5	—	

手話奉仕員養成研修事業									
養成講座の修了見込者の実人数	人	2	2	2	2	3	—	—	講座受講者は増加傾向にあるため、修了者も増加していくと予想される。
移動支援事業	箇所	29	29	29	29	29	—	—	計画値に対し、利用者数は上回る見込みである。
	月平均利用者（人）	112	114	116	119	115	—	—	
	年間実利用者（人）	165	168	171	181	190	—	—	
	月平均延利用時間	1,400	1,425	1,450	1,165	1,073	—	—	
	年間延利用時間	16,800	17,100	17,400	13,977	12,876	—	—	
移動支援事業箇所数	箇所	2	2	2	2	2	—	—	車両の増車もあり、利用者についても計画値を上回る見込みである。
移動支援事業車両数	台	6	6	6	7	7	—	—	
年間延利用人数	人	3,500	3,500	3,500	4,210	4,376	—	—	
地域活動支援センター（長岡市分）	箇所	11	11	11	11	12	—	—	計画値をほぼ達成している。
	実利用人数	266	274	282	304	312	—	—	
地域活動支援センター（Ⅰ型）※1	箇所	2	2	2	2	2	—	—	
	実利用人数	76	78	80	101	99	—	—	
地域活動支援センター（Ⅲ型）※2	箇所	2	2	2	2	1	—	—	
	実利用人数	56	59	62	48	26	—	—	
地域活動支援センター（基礎的事業）※3	箇所	7	7	7	7	9	—	—	
	実利用人数	134	137	140	155	187	—	—	
地域活動支援センター（Ⅱ型）（長岡市以外分）※4	箇所	1	1	1	1	1	—	—	
	実利用人数	1	1	1	1	1	—	—	

※1 地域活動支援センター（Ⅰ型）

基礎的な事業に加え、専門職員（精神保健福祉士等）を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティアの育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発等の事業を実施する。なお、相談支援事業を併せて実施または委託をうけていることが要件である。

法人格を有し、職員は3名以上（うち2名以上は常勤）配置
1日当たり実利用人数が概ね20名以上

※2 地域活動支援センター（Ⅲ型）

地域の障害者のための援護対策として、地域の障害者団体等が実施する通所による援護事業の実績を概ね5年以上有し、安定的な運営が図られており、創作的活動、生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行う。

このほか、自立支援給付に基づく事業所に併設して実施することも可能である。

法人格を有し、職員は2名以上（うち1名以上は常勤）配置
1日当たり実利用人数が概ね10名以上

※3 地域活動支援センター（基礎的事業）

利用者に対し創作的活動、生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行う。
職員は2名以上（うち1名は専任）配置

※4 地域活動支援センター（Ⅱ型）

基礎的な事業に加え、地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスなど自立と生きがいを高めるための事業を実施する。
法人格を有し、職員は3名以上（うち1名以上は常勤）配置
1日当たり実利用人数が概ね15名以上

(2) その他の任意事業

(計画書P96～103)

サービス名	単位	計画値			実績値			評価
		27年度	28年度	29年度	27年度	28年度見込み	29年度	
訪問入浴サービス事業	実施箇所数（箇所）	5	5	5	3	2	—	実施箇所数、年間利用者数ともに計画値を下回る見込みである。
	年間利用者数（人）	10	10	10	5	5	—	
生活訓練等事業	生活学級利用人数（人）	900	900	900	710	750	—	参加者数の減少により利用人数が計画値を下回った。
日中一時支援事業	箇所	42	43	44	40	41	—	事業所箇所数は計画値を下回っているが、利用実績については増加している。
	月平均利用者（人）	222	242	262	232	240	—	
	年間実利用者（人）	389	409	429	429	435	—	
	人日分（月平均）	350	360	370	364	389	—	
	人日分（年間）	4,200	4,320	4,440	4,366	4,668	—	
地域移行のための安心生活支援事業	施設箇所数見込量（箇所）	2	2	2	2	2	—	障害のある人が地域で安心・安全に生活できるように支援体制を整備して、障害のある人の地域移行・地域定着の促進を図る。
社会参加促進事業								スポーツ・レクリエーション教室は計画値を下回った。一部事業の参加者が期待値を下回ったことが原因だが、内容については専門性の高いものを実施することが出来た。今後も引き続き実施していく。その他の事業については計画値を下回っているが、今後も継続して実施していく必要がある。
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	人	400	400	400	407	239	—	
文化芸術活動振興事業	人	800	800	800	780	740	—	
点字・声の広報等発行事業	人	110	110	110	87	86	—	
自動車運転免許取得・改造助成事業	人	25	25	25	29	24	—	
障害者虐待防止対策支援事業	対応件数（件）	10	12	14	5	15	—	障害者基幹相談支援センターができたことに伴い、窓口の周知を積極的に行った結果、通報・相談件数が増加した。
更生訓練費給付	支給件数（件）	1,884	1,884	1,884	1,538	1,491	—	事業所の定員縮小や事業停止等に伴い、支給対象者が減少したことから、計画値を下回る見込みである。

【障害福祉計画部分】平成29年度における数値目標について

1 施設入所者の地域生活への移行 (計画書P51～52)

- 平成26年3月31日現在 施設入所者数 326人 (A)
- 平成30年3月31日現在 施設入所者数(見込み) 312人 (B)

◆【目標値】施設入所者の削減数 14人

項目	実績値			目標値
	27年度	28年度見込み	29年度	29年度
入所者数 (B)	318人	323人	—	312人
入所者減少数 (A) - (B)	8人	3人	—	14人
達成率	57.14%	21.43%	—	—

【進捗状況】

・障害者やその家族の高齢化等により、施設入所者数が増加しており、目標値を下回る見込みである。

◆【目標値】地域生活への移行者数 40人

項目	実績値			目標値
	27年度	28年度見込み	29年度	29年度
年間の地域生活移行者数	4人	2人	—	—
地域生活移行者数の累計 (平成27年度～)	4人	6人	—	40人
達成率	10.00%	15.00%	—	—

【進捗状況】

・地域移行が可能な施設入所者の大半が、既に地域移行をしており、目標値を下回る見込みである。

2 福祉施設から一般就労への移行等 (計画書P53～55)

ア 福祉施設から一般就労への移行

- 平成24年4月1日から平成25年3月31日までの
年間一般就労移行者数 26人

◆【目標値】平成29年度の年間一般就労移行者数 39人

項目	実績値			目標値
	27年度	28年度見込み	29年度	29年度
年間の一般就労移行者数	27人	26人	—	39人
達成率	69.23%	66.67%	—	—

【進捗状況】

・就労移行支援事業利用者が目標値を大きく下回っており、一般就労移行者数も目標値を下回る見込みである。

イ 就労移行支援事業の利用者数

- 平成25年3月31日現在 就労移行支援事業利用者数 113人 (A)
- 平成30年3月31日現在 就労移行支援事業利用者数(見) 130人 (B)

◆【目標値】平成29年度の就労移行支援事業利用者数 130人

項目	実績値			目標値
	27年度	28年度見込み	29年度	29年度
年間の就労移行支援事業利用者数	90人	95人	—	130人
達成率	69.23%	73.08%	—	—

【進捗状況】

・新規事業所の開設により利用者は増加するが、目標値に対しては下回る見込みである。

ウ 就労移行率3割以上の事業所の割合

○平成30年3月31日現在 就労移行支援事業所数 18 (A)

○平成30年3月31日現在 就労移行率3割以上の事業所数 8 (B)

◆【目標値】平成29年度の就労移行率が3割以上の事業所の割合 44% (B)/(A)

項目	実績値			目標値
	27年度	28年度見込み	29年度	29年度
年間の就労移行支援事業所数	14	15	—	18
年間の就労移行率3割以上の事業所数	1	3	—	8
年間の就労移行率3割以上の事業所割合	7.14%	20.00%	—	44%
達成率	16.23%	45.45%	—	—

【進捗状況】

・就労移行率3割以上の事業所数は増加しているが、事業所ごとの就労移行率に大きな差異が生じている。